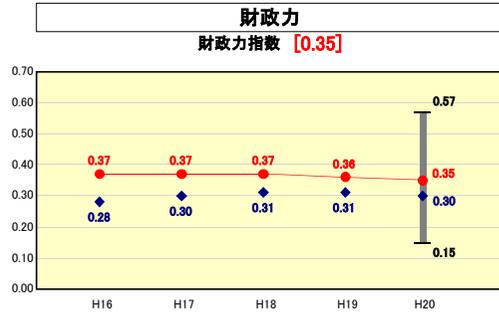
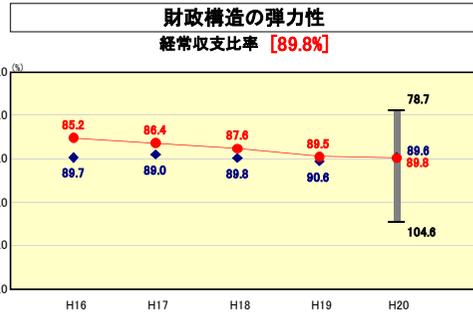


# 市町村財政比較分析表(平成20年度普通会計決算)

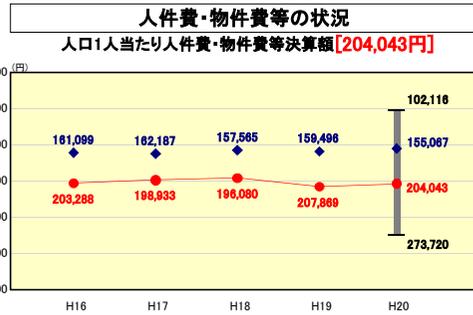


● 当該団体値  
◆ 類似団体内平均値  
T 類似団体内の最大値及び最小値

類似団体内順位 11/52  
全国市町村平均 0.50  
大分県市町村平均 0.44



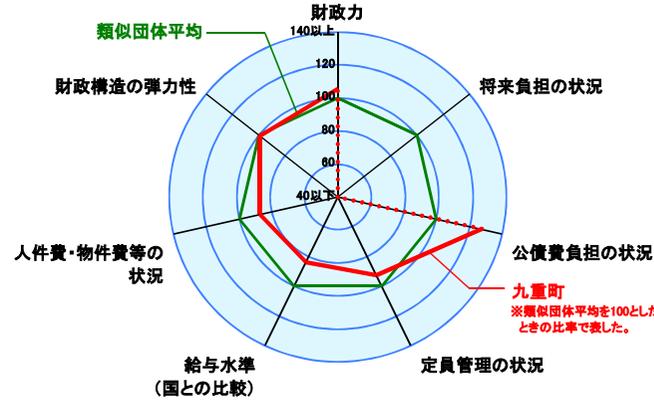
類似団体内順位 25/52  
全国市町村平均 91.8  
大分県市町村平均 94.4



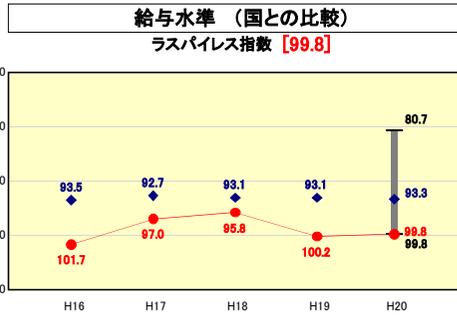
類似団体内順位 42/52  
全国市町村平均 114,142  
大分県市町村平均 121,407

※人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし、人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

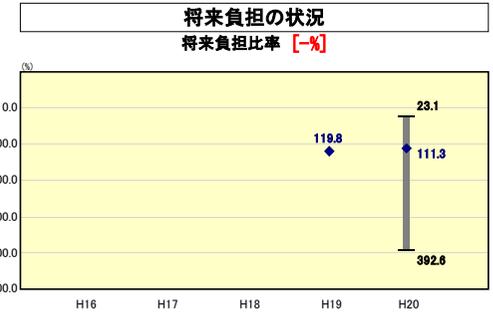
人口	11,136	人(H21.3.31現在)
面積	271.41	km <sup>2</sup>
標準財政規模	3,831,758	千円
歳入総額	8,241,138	千円
歳出総額	7,754,525	千円
実質収支	435,538	千円



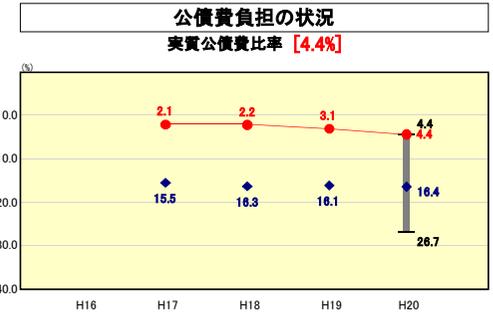
※類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を含む。  
※平成21年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率及び将来負担比率を算出していない団体については、グラフを表記せず、レーダーチャートを破線としている。  
※充当可能財源等が将来負担額を上回っている団体については、将来負担比率のグラフを表記せず、レーダーチャートを破線としている。



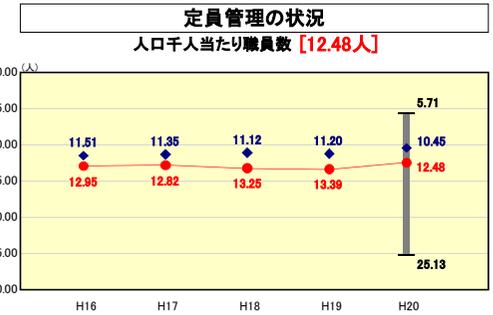
類似団体内順位 52/52  
全国市町村平均 98.4  
全国町村平均 94.6



類似団体内順位 -/  
全国市町村平均 100.9  
大分県市町村平均 88.1



類似団体内順位 1/52  
全国市町村平均 11.8  
大分県市町村平均 11.6



類似団体内順位 33/52  
全国市町村平均 7.46  
大分県市町村平均 8.78

## 分析欄

＜財政力指数＞  
町税全体において固定資産税の占める割合が大きく類似団体より、0.05ポイント多い状態となっています。今後においても大幅な伸びは期待できないため、引き続き徴収強化に努めます。

＜経常収支比率＞  
経常収支比率算出の分母となる経常一般財源等額についてはほぼ横ばいで推移しました。また、分子となる経常経費充当一般財源等額のうち、人件費は職員数の減や平均年齢の低下に伴い減少したものの、公債費について大型事業の償還が始まったため、増加しました。これらの要因により前年より0.3ポイント増となりました。

＜人口一人当たり人件費・物件費等決算額＞  
前年より3,826円減少しました。本町は面積が大きいことや、観光施設の管理費用等もあり一概には比較できませんが、今後においても、経常経費の縮減が必要と考えています。

＜ラスパイレス指数＞  
類似団体平均と比較しても、6.5ポイント高い状況ですが、今後も適正な給与と構造を目指します。

＜将来負担の健全度＞  
将来負担比率は、一般会計等が将来負担すべき実質的な負債の標準財政規模に対する比率ですが、本町においては、将来負担額よりその解消のために充当することが見込まれる基金等が多い状況となっているため、将来負担比率はありません。

＜実質公債費比率＞  
本町における全ての会計で支払う元利償還金や公債費に準じるような債務負担行為額や繰出金及び一部事務組合・広域連合等の地方債の負担額等の合算額が標準財政規模に対してどれだけの割合を占めているかを表しています。類似団体のみならず、全国と比較しても良好な状態にあるといえます。これは過去実施した公債費負担を軽減する適切な繰り上げ償還や、交付税措置される起債が多いことが要因といえます。

＜定員管理の適正度＞  
昨年と比較して0.91人の減となりましたが類似団体と比較して2.03の増となっています。今後も集中改革プランの定員管理に基づき、削減に努めます。